

ひまわり



第21回 福祉の絵手紙 優秀賞受賞作品 向井 喜八 様

- 2 ▶ 3 職員サークル紹介
- 4 乳がん検診実施
海外における介護人材確保セミナー
- 5 連載vol.71 ● [記録に残したい記憶]
～貴重な体験を語り継ぐ～
- 6 ▶ 9 各施設トピックス
- 10 福寿園ニュース
- 11 たぶトピ
- 11 家族会だより
- 12 連載
 - 外国人介護士 紹介インタビュー
 - 施設長・管理者のリレーコラム
 - 4コマまんが フクちゃん

180号

令和7年3月10日

福寿園職員サークル紹介

福寿園には、福利厚生の一環として9つの職員サークルがあります。

休日を利用して職員同士親睦を深め、
日々のリフレッシュにも役立っています。

日本の四季を感じながら、年4回開催しています。ゴルフは礼儀やマナーが非常に重要視されるスポーツです。ゴルフ場では立ち振る舞いや話し方、タイムマネジメントが求められ、人間関係を深めるための絶好の機会です。ゴルフを通じて培った、チームワークや協調性を仕事でも発揮することができます。楽しみながらの運動は、自然と心と体をリフレッシュしています。

ゴルフサークル



年に3回、日帰りで観光に出かけるお気楽なサークルです。その季節の花を愛でたり、美味しいものを食べたり、ショッピングを楽しんだり、とにかくリフレッシュするためのサークルです。先日は、三重県にある椿大神社となばなの里へ出掛けました。皆でご祈禱を受け、美しいイルミネーションに感動し、楽しい一日を過ごせました。

観味悠楽サークル



毎年5月～9月の期間限定で、日本でも有数のサーフスポットである田原市の立地をいかし、サーフィンサークルを開催しています。田原市初の女性プロサーファーの泉マリンさんを講師に迎え、毎回熱いレッスンが行われます。初心者の方はもちろん、すでにサーファーという方もレッスン無しで参加することができます。現在は20名弱のメンバーと楽しく波乗りしています。

サーフィンサークル



当サークルは、野球好きの職員が集まり、毎年秋に開催される県老協野球大会に参加しています。その大会では7連覇をした実績もあり、過去には3度の全国大会にも出場しています。練習や試合の後は、みんなで食事をして親睦を深めています。野球経験の有無、男女、年齢等は関係なく、野球を楽しんでいます。

野球サークル (サンフラワーズ)





山歩きサークル

登山初心者や職員の家族も気軽に参加ができ、季節ごとの登山道の自然を感じながら、皆で登山を楽しめるサークルです。山頂からの眺めは絶景で、感動ものです。このサークルへの参加をきっかけに、登山にはまる職員もいます。山の魅力を楽しんだ後は、美味しい料理や温泉を満喫するなど、リフレッシュできる1日を過ごせます。



女性職員の女子カアップを目的に、毎年5月・9月・1月の計3回様々な行事を企画しています。令和6年度は、5月にスタンドグラス作り体験、9月に常滑市にある大蔵餅にてお餅作り体験、1月に食品サンプル作りを開催しました。合計で53名の女性職員が参加し、物作りを通して女子カアップを図っていただきました。

女子カアップサークル



年に3回、外で活動するのが楽しくなるころにサークル活動を行っています。貼つかみ体験、ブルーベリーやみかん狩り、バーベキューやフィールドアスレチックなど、子どもから大人まで、みんな一緒に楽しめるような企画を計画しています。他施設の職員との交流や、参加した子どもたちも友達の輪が広がります。

アウトドアサークル



LTS Jazz Orchestraは総勢19名の職員で編成されたビッグバンドです。法人の理念「愛 (Love)」と「感謝 (Thanks)」と「奉仕 (Service)」の頭文字をとりバンド名としました。音楽は癒しであり励みでもあります。楽しく演奏することをモットーに、現役バンドマンから初めて楽器を手にする人まで、和気あいあいとがんばっています。年に1回はどこかの施設で演奏していますよ。

ビッグバンドサークル



年に3回、毎回大勢の職員が参加し、白熱した試合を展開しています。他地区施設の職員と交流がとれるのも魅力のひとつです。最近では、田原福祉グローバル専門学校の生徒も参加され、活気あふれる試合を繰り広げています。日頃の運動不足解消に最適です。また、職員のお子さんも参加してくれており、このサークルから未来のオリンピックが誕生するかもしれません!

ソフトバレーサークル



職員の健康を第一に! 乳がん検診を実施しました

福寿園では、職員の健康を大切に考え、健康経営の一環として乳がん検診を実施しました。今回は各地区の施設に検診車を招き、法人全体で約300名の職員が受診しました。

費用は法人が全額補助し、職員が自ら健診機関を予約する手間を省くことで、より多くの方が受診しやすい環境を整えました。その結果、多くの職員が検診を受け、健康への意識が一層高まったことを実感しています。

乳がんは早期発見・治療によって予後が大きく改善される病気です。しかし、残念ながら当法人でも現役の職員が乳がんで命を落とした事例がありました。このことを契機に、職員の健康を守る取り組みをさらに強化し、今回の検診を実施しました。

受診した職員からは、「職場で受けられて便利だった」「改めて健康の大切さを実感した」といった声が寄せられました。このような検診は、病気の早期発見につながる貴重な機会です。今後も法人全体で健康経営を推進し、職員が安心して働ける環境づくりに努めてまいります。



海外における介護人材確保セミナー

~ネパール・ミャンマー編~

今回はネパールとミャンマーでの介護セミナー・広報募集についてお届けします。

ネパールでは、日本へ行くことはファッション（おしゃれでイケてる）という感覚で、日本で働いた経験をとても自慢できます。そのためあらゆるところに日本語学校があり、カトマンズの中心部では通りを歩くと右に日本語学校、左に日本語学校、ピルの1階から5階まで日本語学校というところもあるようです。日本は「女性に優しい。権利が守られている」という印象から日本を好む人が多いようです。

ミャンマーでは軍によるクーデターが起こったことから大学を中退する学生がとて

も多く（軍の息がかかったカリキュラムを受けたくないため）、また昨年から男女ともに徴兵制度が始まり国を出たい若者が急増しています。仏教国であり、日本に親しみを持つ人が多いようです。

どちらの国においてもオンラインでセミナーをして興味を持った学生を集めて面接を行います。日本を選んでもらうことはもちろんですが、やはり高校を卒業して日本へ来るので本人も親も覚悟を決めて来てもらい、日本側も責任を持って受入れる必要があります。長く日本で介護職員として働く人材と出会えるよう広報募集を進めています。



ネパール

ミャンマー



連載 ⑦

記録に残したい記憶

「貴重な体験を語り継ぐ」

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。



竹内 巧さん
(ケアハウス きぬうら)

プロフィール

生年月日：昭和11年9月29日
年齢：88歳
趣味：貼り絵
好きな言葉：切磋琢磨

私は昭和11年に岐阜県大垣市で弟2人妹3人の長男として生まれました。小学3年生の頃、第二次世界大戦の最中、岐阜にもたくさんの焼夷弾が落ちて来ました。防空頭巾を被り、弟と妹の手を引いて近くの山まで逃げたことを今でも覚えています。

紹介してもらった商店で働きました。氷を売っていましたが、冬の時期はあまり売れないので替わりに炭を売ってました。炭を切って売っており、煤すすで鼻の中まで真っ黒になって大変でした。

近くの山は石灰を掘っていた場所、そこには自分達家族の他にも大勢の方が避難してきていました。みんな不安でいっぱい表情をしていて、この先どうなるのだらうと子供ながらに色々考えていたのを覚えてます。

昭和36年、第二室戸台風という超大型の台風が発生し、住んでいた岐阜も大変な被害を受けました。朝早くに隣に住んでいた方からの「水が来ているぞ」という声に飛び起きると、水が畳のすぐ上まで来ていました。水がじわじわと迫ってくる中、急いで箱と板で足場を作り、出産間近の妻をおんぶして、膝上まで水に

浸かりながら友人宅まで歩きました。背負った大事な2つの命を守りたい一心で無我夢中でした。住んでいた借家は住める状態ではなくなってしまうので、親戚のいる常滑に引越し、赤ちゃんはその所で無事に産まれたので本当に良かったです。

昭和51年から約20年間はタクシーの運転手の仕事をしていました。お参り専門の貸し切りタクシーを企画し、西は兵庫県、東は栃木県まで、三十三観音巡りなどの送迎を泊りで行っていました。非番の日には家族を連れて現地の下見に行き、お手洗いや階段の場所など現地の人に聞きな

がら、より良い案内ができるよう自分でルートなど調査し作成しました。今あるお遍路ツアーの先駆けでした。貸し切りタクシーは口コミで広がり、ありがたいことに予約もたくさんあり、忙しい日々を過ごしていました。やりがいと充実感溢れる日々は、自分にとっての宝物です。また、家族とは神社巡りなどしながら現地の美味しいものを食べたことも良い思い出です。

今は妻と一緒にケアハウスきぬうらで穏やかな日々を送ることができ、大変ありがたいと思います。



知立の弘法山遍照院にて



三峰神社本殿前にて



別府温泉の北向観音前にて

田原福寿園本館

「おでんスナック」へいらっしやい♪

お手製の赤ちよ
うちんと暖簾をく
ぐれば、そこに待

っていたのは、アツアツのおでんに
香ばしい焼きおにぎり、ふんわり卵
焼き。そして、デザートも品数いっ
ぱい！寒さ身にしむ睦月



の夜に、「おでんスナック」を開店しました。入居者の皆さんは「どのおでんのネタを食べようかな」「どれもあつたかくておいしいね」と満面の笑み。ほろ酔い気分で歌う人。身も心もほっかぽかに温まる、冬の一夜となりました。

花の里 高校生とレクリエーション

地元の福江高校の生徒さんがレクリエーションの実践授業で花の里に来てくれました。レクリエーションの内容は学生同士で考え、わなげやフリースロー、ボール回しなど利用者が参加しやすいもので、進行から全て学生が行いました。ハキハキと積極的な会話やその姿に、利用者も大変喜ばれていました。ゲームと一緒に楽しんだ後、思いもよらない折り紙のメダルをプレゼントされ、皆さん大喜びでした。



デイサービス砂川

バレンタインウィーク

2月14日はバレンタインということ、2月の第3週をバレンタインウィークと題して、おやつバイキングを行いました。チョコレート系の甘い物を中心に、三色団子や煎餅も混ぜながら、皆さんが楽しめるラインナップを用意。日頃の感謝を込めて、利用者さん一人ひとりに手書きのメッセージも添えて、また一段と笑顔の溢



れる企画となりました。それにしても、甘い物を食べているときの表情は皆さん幸せそうですね。

豊田福寿園地域包括支援センター 認知症カフェ ☺ おれんじボックス

「のまたやってくれる？」との嬉しい声も多数ありました。介護者テーブルでは、介護経験者・

豊田市の認知症施策に日々取り組むなか、認知症本人とその介護者への支援に目を向けた認知症カフェを開催しました。当日は、空気を分けて開催。認知症当事者テーブルでは、家族へのストレス、思い描いていた老後と異なることへの不満、最近の出来事まで、時間いっぱい会話が進み、終了時には「こうい



介護中の方が参加され、プチ講話として認知症の基礎知識を啓発させていただきました。その後交流会を行い、一生懸命介護をしても本人からは怒られる・恨まれることへの悔しさ、介護と仕事のバランス等、悩みや想いなどが吐露され、時折涙を浮かべる光景が印象的でした。

ひまわり邸グループホーム

恵方巻づくり

「自分の恵方巻は自分でつくる」がグループホームでの節分の恒例イベントです。上手に巻けるかと不安そうな方もいましたが、巻き簾・酢飯・彩とりどりの具材がテーブルに並ぶと、皆さんとても手際よく、あっという間にたくさんオリジナル恵方巻が完成しました。今までは奥さんに作



ってもらっていた男性も、とても上手に作る事ができました。今年も素敵になりましたように。

ちた福寿園シヨートステイ
ブリ解体ショー

1月の月末行事として、ブリの解体ショーを行いました。まるまる一匹のブリを見ると「大きいねえ」とびっくりされていました。託児の子どもたちも来ており、自分の背丈くらいある大きなブリにびっくり！解体ショーが始まり、ブリを解体していくと「すごいね！」

「どんどん小さくなるね」などの感想が聞かれました。途中でブリのつまみ食いを行うと、皆さん「美味しい！」と笑顔で食べられていました。昼食に捌いたブリの刺身を提供する



と、皆さんベロリと完食。新鮮な刺身は「普通の刺身とはやっぱり違うね！」と大満足の食事となりました。

田原ゆの里

焼きそば作りに挑戦!

1月に誕生日を迎えられた入居者さんのリクエストで、昼食に焼きそば作りに挑戦しました。ホットプレートを用意、目の前で調理をすると「おお〜」と歓声があがりました。入居者の皆さんにもキャベツや豚肉のカットを手伝ってもらいました。包丁を渡すと「できないよ〜」と言いつつも、慣れた手つきでキャベツと豚肉を切ってくださいました。肝心のお味は：「味



が薄い！」と言っていました。皆さん完食されていました。「今度は何を作って食べようか」と次回を楽しみにされている様子でした。

東海福寿園

ひなかざり

3月3日はひなまつりということで、多目的ホールで毎年恒例のひな人形の飾りつけを行いました。入居者さんに協力してもらいながら、たくさんある人形を順番に飾っていきました。飾りながらひなまつりの思い出話をしてもらい、自宅にあったひな人形を懐かしんでいる方もみえました。「子どもの頃に母親に買ってもらうや

うれしかったわ」や



「孫に買ってあげたわ。もうその孫も大きくなってね」等、それぞれの思い出話に花が咲いていました。桃の花が咲く時期も近づき、春の訪れを感じます。みなさんの笑顔と思い出話に心が温かくなりました。

昭和の里デイサービス

江戸時代から平成までの雛飾り

立春が過ぎ、まだ寒さが残る中、リニューアルした二川本陣資料館で行われているひな祭り展に行ってきました。見事なつるし飾りに圧倒され、明治や大正時代の御殿飾りを見て「昔、お雛様はこんな立派な御殿に入ってただねえ」と食い入るようにじつくり鑑賞されました。どこまでも続く七段飾りに、展示する大変さを案じながら、「なかなか自分たちでは来れないところだけど、こんな立派なお雛様や天神様、今度は



家族を連れてきてあげたいなあ」と心に残る外出企画となりました。

木田の里 就労継続支援

本格製麺の名にかけて

木田の里がオープンして二年近くが経過し、本格製麺『つる福』では、たくさん利用者さんが働くようになりました。つる福の看板メニューといえば自家製うどん。その看板メニューの仕込みから提供までの工程を、現在4名の利用者さんができるようになりました。一見簡単そうに思えますが、その日の気温や湿度によって顔色を変えるうどんに四苦八苦しながら、職員と一緒に頑張って、究極に美味しいうどんを日々追及しています。その甲斐あって、お



お客様からは大好評で、「美味しいね」の言葉を励みに頑張っています。

ケアハウスパシフィック

あま〜い至福のひととき

甘い誘惑に心が揺らぐこの季節に、スイーツバイキングを行いました。

目の前にはたくさんのおスイーツ達が入居者の皆さんをお迎え。その光景に思わず目を輝かせてしまいます。厨房職員の手の込んだお手製スイーツも、おいしいに違いない！ひとくち頬張る度に笑みがこぼれ落ちていきます。お皿に乗ったスイーツ



達はあつという間にお腹の中へ。お昼ご飯をしっかり食べた後なのに、甘い物は別腹のようです。お好きな飲み物と一緒に、今日の午後のティータイムは格別でした♪

渥美福寿園

もっと上だよ！

皆さんで福笑いを行いました。目隠しをして、顔のパーツを手探りで貼り付けます。周りの利用者から「もっと上！右！」と大きな声と笑い声が響き、眉毛や口などの場所を教えてくださいますが、様々な方向から声が飛ぶため「どっちだ？こっちはか？」と戸惑いながらもなんとか完成。できあがった顔を見ると、皆で大笑い。参加した利用者から「懐かしくて楽しかった！また、やりたいな」の声も聞かれ、大いに盛り上がりました。





毎月開催しているお誕生日会で、1月生まれの主役の皆様

みなみ福寿園 ハッピーバースデー!!

さんからの「美味しいコーヒーが飲みたいわ」というご希望に添えて、職員が喫茶店のマスターに大変身!「お客様お好きなカップソーサーをお選びください」「じゃ、私はこれで」と、お好みのカップソーサーでコーヒーを楽しんでいただきました。コーヒーミルで豆を挽くと、部屋中にいい香りが充満し、「本当におしゃれな喫茶店に来たみたい」ととても喜んでくださいました。今度は是非、素敵な喫茶店にコーヒーを飲みに行きましょーね!



12月に仲間入りしたEPA16期生とデイサービス利用者とのコラボ企画として「1年後の自分へ」というお題で手紙を書き、タイムカプセルを作製しました。成長した自分へ、元気で過ごしている自分へ等、様々な思いを浮かべながら綴りました。実際に埋めていると、自然と16期生と利用者の会話が盛り上がっていました。今からタイムカプセルを掘り起こすのが楽しみです!

日頃よりお世話になってい
るさくららんの会の主催で、
ヴァイオリ
ニストの白
井崇陽さん
とシンガー
ソングライ
ターの柳田
はるかさん
のコンサ
ートが食堂ホ
ールにて行
われました。
普段聴きな



でも嬉ば
れておりまし
た。最後に入
所者から二人
へお礼の花束
を贈呈。また
素敵な音色と
歌が聴けたら
いいねと、次
回公演を楽し
みにされてい
ます。

ケアハウスきぬうら モールでチューリップ

立春も過ぎて暦上では春ですが、まだまだ寒さが厳しい季節です。創作クラブで、モールで春を感じられるチューリップ作りを行いました。最初は上手に形にならず、「ここはどうなっているの?」「この形だと変じゃない?」など職員に確認しながら作製しました。花の丸みや立体感を出す細かい作業が大変でしたが、慣れてくると会話も弾み、楽しみながら、それぞれ



が個性的な花束を作ることができました。手作りの花を愛でながら、生花の咲く春を待ちたいと思います。

ひまわりの街デイサービス 未来に希望を込めて

武豊福寿園
HUG訓練**

知多地区施設合同のHUG訓練に参加しました。災害時に行うであろう避難民対応の大変さや、情報収集や情報共有の重要性を実感しました。様々な状況に対処するためには、迅

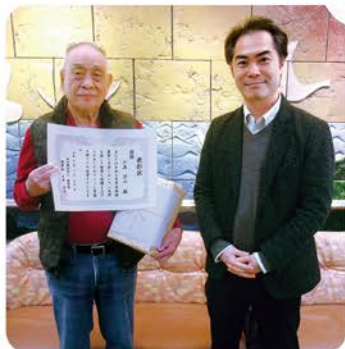


速かつ適切な判断力が求められる。特に避難所での役割分担や、どれだけの避難民を受け入れ、断るかを瞬時に判断する力が試される。実際の模擬体験を通じて、その重要性を深く理解できました。自施設で起きることを想定して、予測できる問題や緊急事態に備えていきたいです。

**HUG訓練：避難所のできごとや避難者対応をゲーム感覚で模擬体験するカードゲームです。

大相撲星取予想 年間MVP決定

毎年恒例の、法人内施設全体による『大相撲星取り予想年間上位者』が発表されました。今年度はケアハウスパシフィックの小島洋二さんがみごと優勝に輝きました。理事長よりお祝いの言葉と賞状、記念品が贈られました。



順位	名前	施設名	総得点
一	小島洋二	ケアハウスパシフィック	318,310
二	和田孝久	看護老人ホーム東播磨	318,110
三	福井健二	看護老人ホーム福寿園	316,610
四	橋井康介	ケアハウスパシフィック	316,510
五	中西智典	ケアハウスパシフィック	316,140
六	関 健蔵	ケアハウスパシフィック	315,810
七	藤原光忠	看護老人ホーム福寿園	315,810
八	宮城寛二	看護老人ホーム福寿園	315,510
九	木田 洋	看護老人ホーム福寿園	315,500
十	田中美代系	ケアハウスきぬら	315,500

令和6年度(令和6年春場所) 大相撲星取予想 法人年間総得点ベスト10 (令和7年初場所)

令和6年度 職員リーダー研修会



講師の山田滋氏

令和7年1月31日、豊橋市のホテルシーバレスリゾートにて、職員リーダー研修会が開催されました。法人内の主任やセンター長を中心に96名が参加しました。

午前の講義では、古田理事長が「人が辞めない職場づくり」について講義され、リーダー職員として、若手に憧れられる存在になることの大切さが語られました。

続いて、「楽しく仕事ができる職場づくり」について、同じ部門のリーダー同士でグループワークを行い、活発な意見交換がされました。

午後は、株式会社安全な介護の山田滋氏を講師に迎え、「カスタマーハラスメント対策実務セミナー」が行われました。カスタマーハラスメントの概念や具体的な対応策が紹介され、実践的な学びとなりました。

本研修会を通じて、職員を守り、働きがいのある職場環境づくりに向けて取り組んでいきたいと思えます。

EPA候補者合格を目指し全力合宿!



EPA介護福祉士候補者12名が田原福寿園に集まり、1月14日から24日までの11日間、介護福祉士国家試験の合格を目指して合宿を行いました。朝から夕方まで、今まで勉強してきたことの復習や予想問題、模擬試験に取り組みました。模擬試験の結果に一喜一憂しながら、弱点部分の強化に励みます。夜間も遅くまでお互いに分からないところを確認したり、ポイントをシェアしたり、今までにないくらい猛勉強しました。

そして、各施設の応援のもと、1月26日の国家試験に挑みました。

合格発表は3月24日。皆さん全員合格できますように!!

パート中級研修会を開催しました

2月21日、26日、27日、各地区においてパート中級研修会を実施しました。本研修は、採用後5年以上のパート職員等を対象とし、64名が参加しました。

福寿園では、経験年数に応じた段階的な研修を体系化し、職員のスキル向上を図っています。

研修プログラムでは、理事長や常務理事による「福祉の動向と福寿園の今後」、リスクマネジメントや不適切ケアの予防に関する講義のほか、生産性向上や外国人介護士の活用など、時代に即したサービスのあり方についての講義も行われました。また、コミュニケーション技術向上の演習も実施しました。

参加者からは「自分の仕事を振り返るきっかけになった」といった声が寄せられ、有意義な研修となりました。



TikTokはじめました!

田原福祉グローバル専門学校

田原福祉グローバル専門学校では、新しくTikTokのアカウントを開設しました。普段の学生の様子や授業風景、介護福祉学科だけでなく日本語学科や児童クラブでの様子なども日々更新していきます!

ぜひ下記QRコードからチェックしてくださいね!



介護職員初任者研修、 介護福祉士実務者研修の募集開始

田原福祉グローバル専門学校

令和7年度の介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修の募集が3月1日より開始しました。これから介護の仕事を考えている方や家族の介護に役立てたい方には初任者研修がお勧めとなっています。介護福祉士の国家資格を受験予定の方には、実務者研修が必須となっていますので、お申込みをお待ちしております。

詳しく知りたい方は、お気軽に田原福祉グローバル専門学校までお問合せください。

渥農ホットサンド モーニング新登場!

Café 2910

Café2910に渥美農業高校の生徒さんが考案したモーニングが新登場します。その名も「めっちゃうま!野菜たっぷりホットサンド」。

田原市による企画で、さまざまな年代の方に朝食の大切さを知ってもらうため、特に朝食をとらないと言われている若い世代の代表として渥美農業高校3年生の生徒さんに協力をいただいた「高校生朝ごはんプロジェクト」とCafé2910のコラボ企画です。

ぜひ、Café2910に「渥農ホットサンドモーニングセット」を食べにきてください。皆様のご来店をお待ちしております。



ちた福寿園 家族会勉強会

家族会だより

2月9日に家族会勉強会として「施設での看取りとは」を行いました。施設での看取り介護の需要が高まる中、看取りがどのようなもので、どんなことができるのかなどのお話をしました。また、ちた福寿園開設からの看取り介護実施の割合と、実施していた期間、実際の看取り介護の事例を交えてご紹介しました。質疑応答の場面では、「グループホーム利用者が看取りの状態になった場合はどうなるのか」や、「勉強になった。心の準備ができた」などの意見が聞かれました。

勉強会の後は、福寿園オリジナルレシピの昼食を用意し、ご家族からは「美味しい。こんな料理を毎日食べられるなんて、羨ましい」との言葉をいただきました。



福寿園オリジナル四コマまんが

新人介護士フクちゃんの日々の奮闘を通して、実際に福寿園の介護現場で営まれる老人ホームの日常を四コマまんがで楽しく伝えます。

連載 Vol.15

「新人介護士」 つりちゃん



連載 外国人介護士 紹介インタビュー

福寿園では、現在105名(フィリピン人69名、ベトナム人28名、インドネシア人8名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎月一人ずつ紹介します。

- Q 日本についてどんな印象がありますか?
A きちんとルールを守る、きれいな国という印象です。
Q 休日は何をして過ごしますか?
A 友だちと花見、花火、スキー、サーフィンといろいろなところへ行っています。もちろん勉強もです!
Q 趣味はなんですか?
A 水泳、ヨガ、料理です。
Q 好きな日本の言葉はなんですか?
A 感謝。
Q 自分を動物に例えるとなんですか? 理由は?
A イルカです。海で自由に泳いでいるところです。
Q 最後に一言
A 人生のすべての瞬間を楽しんで、小さくても大きくても、常に感謝してください。



シバ ユメ
アルバンド
ニックネーム
ジェマ
豊田福寿園
国籍: フィリピン



連載 施設長・管理者の ルールコラム

特別養護老人ホーム
豊田福寿園

施設長 柘植 健史

豊田福寿園に奉職したのが、今から27年前、22歳の春でした。今年で50歳を迎える私も、これまでの月日のなかで、仕事に打ち込み、結婚し、3人の娘に恵まれました。気づけば今年、長女が二十歳。1月に成人式を迎え、晴れ姿に目頭を押さえながら、撮った写真は数百枚。福寿園に入った当初の自分と同じ年頃になった娘に改めて、「立派に育ってくれてありがとう!」と感謝の思いでいっぱいです。とはいっても早生まれであった長女は2月に誕生日を迎えて、名実ともに二十歳となりました。お祝いのお酒を一緒に酌み交わし、これからは大人としての付き合いを楽しんでいこうと思います。来年には次女が二十歳を迎え、8年後には三女も控えています。子どもたちの成長が私の元気の源です。健康に気をつけながら、まだまだ「父ちゃんがんばるぞー!」



令和7年3月10日発行

発行/社会福祉法人 福寿園
理事長/古田周作

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。



Instagram

facebook

YouTube

vol.180 12